

安全データシート (S D S)

発行日：平成 30 年 6 月 27 日

作成日：平成 30 年 6 月 27 日

改訂日：平成 年 月 日

1. 製品および会社情報

会 社 名：南海化学株式会社

住 所：高知県高知市桟橋通 4 丁目 10-1

担当部門： ケミカル営業部

土佐ケミカル材グループ

電話番号：088-831-6191

FAX番号：088-831-3461

担当者： 北岡

製 品 名 レジオスター 配管洗浄剤 B剤

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性 : 可燃性固体 : 区分外
 : 自然発火性固体 : 区分外

健康に対する有害性 : 急性毒性（経口） : 区分外
 : 急性毒性（経皮） : 区分外
 : 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

環境に対する有害性 : 水生環境有害性（急性） : 区分外
 : 水生環境有害性（長期間） : 区分外

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル：該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】 : 取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。
 : 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。

 : 作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。

【救急処置】 : 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませてください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。

 : 目に入った場合は、直ちによく水で洗って下さい。コンタクトレンズをご使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。

 : 皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。

【保管】 : 密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

3. 組成及び成分表示

化学物質・混合物の区別 : 混合物

官報公示整理番号（化審法） : 有り

官報公示整理番号（安衛法） : 有り

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
過炭酸ナトリウム	非公開	非公開
非イオン系界面活性剤	非公開	非公開

4. 応急処置 眼に入った場合

直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

製品に触れた部分を多量の水または微温湯にて洗い流す。必要に応じて石鹼などを使い充分に洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合、速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合 鼻をかみ、うがいをさせる。被災者を新鮮な空気の場所に移動させ安静した後、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の処置 保護具

一般慣例に従う

消火方法 消火剤を用いて風上から消火する

消火剤 水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤

6. 漏出時の措置

空容器にできるだけ回収し、その跡は大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取り扱い上の注意 取り扱い時

取り扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

取り扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。

屋外での取り扱いはできるだけ風上から行う。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

保管

通風をよくし、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。火気、熱源より遠ざける。長期保管を避ける。

8. 暴露防止措置

管理濃度 データ無し

許容濃度 データ無し

設備対策	多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。	
保護具	状況に応じて着用する。	
保護衣	状況に応じて着用する。	

9. 物理/化学的性質	外観等 におい 沸 点 蒸気圧 蒸気比重 揮発性 融 点 比重又は嵩比重 水溶解性	白色顆粒状 やや特異臭を有する 不明 不明 不明 無し 不明 1.24 g/cm^3 可溶
-------------	---	---

10. 安定性及び反応性	引火点 発火性 爆発限界 可燃性 酸化性 自己反応性・爆発性 安定性・反応性 その他の情報	不燃 不燃 知見なし (原材料の性質より爆発性はないものと考えられる。) 不燃 有り 知見なし (原材料の性質より自己反応性・爆発性はないものと考えられる。) 通常の取り扱い条件下で安定 特記事項無し
--------------	--	---

11. 有害性情報	皮膚腐食性 皮膚刺激性 眼刺激性 感作性 急性毒性 亜急性毒性 慢性毒性 ガン原性 変異原性 生殖毒性 催奇形性	やけど (薬傷) を起こすことがある。 やや刺激性有り 刺激性有り。失明することがある。 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし
-----------	--	--

12. 環境影響情報	分解性 蓄積性 魚毒性 その他情報	自然界で分解される。 認められていない。 知見なし 製品・高濃度の溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。
------------	----------------------------	--

13. 廃棄上の注意	多量の水で希釈して流す。 製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。
------------	---

14. 輸送上の注意 容器の破損、漏れのないことを確かめる。
 荷崩れ防止を確実に行う。
 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
 湿気、直射日光を避ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法施行令	非該当
毒・劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

16. その他

事故・災害事例	記載される情報はない。
問い合わせ先	製造者情報の項を参照。
引用文献	「製品安全データシートの作成指針」 (社)日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。
使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。